



夢花だより

発行元
社会福祉法人なごみ福祉会
夢花事業部
発行責任者 中村 行啓
〒214-0036
川崎市多摩区南生田4-12-3
TEL/FAX 044-976-3703
<http://www.nagomi-yumehana.com>

共に生き 共に育つ

【記事ラインナップ】

- 1P. 「共に生き 共に育つ」
夢花事業部部长 梶山理事
- 2P. 「ご報告☆フローラ展示即売会」
- 3P. 「ご報告☆カフェ夢花」
「研修報告」
- 4P. 「活動報告&お知らせ」
 - ・8月、9月の活動報告
 - ・職員紹介
 - ・利用者さんの作品

【トピックス】

栗谷ホームについて

28年4月に移転したコスモ、コスモⅡの跡地に虹Ⅲ、ぱれっとⅢの為のホーム建設工事が9月より始まりました。

川崎市から、スプリンクラーと、バリアフリー設備に補助金を頂きます。

完成予定は来年の3月末を予定しています。

工事期間中はご迷惑をお掛けしますが、よろしく願います。



工事中の様子

相模原の施設で起きた殺人事件について、多くの皆さんが心を痛み、悲しみの涙を流された事と思います。犠牲になられた皆さんには、心からお悔やみを申し上げます。

今回の事件は、悲惨さと残虐さは勿論ですが、多くの方の暮らしを支えている事業所として、犯人が当該施設で働いていた経験がある人間だった事に、強い衝撃を受けた次第です。

「守るべき人が犯人であったら、誰を信用したらよいのか？」

利用者の方に、一時でも不安を与えてしまった事を、心からお詫びしたいと思います。また、事業所の日々の業務と環境、働く者の姿勢を改めて考えさせられました。近年、障害者権利条約が批准され、障害者虐待防止法、差別解消法など、障害を持つ方の人権や尊厳を守る為の法律が整備されてきました。それに伴う研修会も、盛んに企画され、事業所としても職員の参加に努めています。それでも、つい最近、横浜市内のグループホームで虐待事件が発生した事をお聞きしました。

どんなに法制度が整備され、人権の尊重と擁護が強調されても、結局、障害のある人に接する者の心情と意識が、一番大切である事を痛感致します。今、職場で支援に従事している人たちが、どのような心情と動機で仕事をしているのか？管理監督の責任がある者として、最も気になる内容です。

その意味で、職員の採用面接では、その方の動機を知る事に一番力を入れてきました。「仕事は楽ではありませんし、組織の体制も給与も良い訳でもありません。何故、障害のある人に関わる仕事をしようと思ったのか？」

「思想、信条、哲学、宗教、家族の一員、縁故、興味、関心、生活の為？」等、動機は様々ですが、話の中で人柄と、適性を把握するのは簡単ではありません。取得している資格も大切ですが、障害のある人を好きな人、優しい人、思いやりがある人、協調性があり、謙虚な人・・・。短い時間に人間性を判断するのは、難しい事です。また、人の動機や事情は、時間の経過で変化する事も、現実です。

「馴(な)れるということは何と恐ろしいことであろう。馴れる事によって、感謝すべきことを不満の種にしてしまうのだ」(作家の三浦綾子さんの言葉)だからこそ、職員の皆さんにいつも確認をしているのは、なごみ福祉会の理念です。

「共に生きて、共に育つ」。この気持ちを大切に、常に利用者の方や自分以外の方から学ぼうとする謙虚な姿勢さえあれば、間違いは起こさないと信じて、おまじないの様に繰り返して伝えていきます。

締めくくりに、某月刊誌の記事を紹介します。

「医(い)王(おう)の目には途(みち)に触れてみな薬なり、解(げ)宝(ほう)の人は鉱石を宝と見る」

「優れた医者で見れば、道端の雑草も薬草と映り、宝石が分る人は、ただの石ころに見えるものにも宝石を見出す。」の意味で、「世の中に無駄なものは一つもない。」事を伝えた、弘法大師の教えだそうです。

また、弘法大師の曼荼羅は、「一つひとつを見れば、欠点が多くても、全体を支える掛け替えのない分担者であり、それらが集まって完璧な全体をつくり上げる。」事を象徴したものだとも言われています。

事件の犯人に最も必要だったものは、宗教的な教えだったのかもしれませんが。

平成28年9月

かじやま のりゆき

夢花事業部部长 梶山則行



フローラ展示即売会を開催しました

あいにくのお天気でしたが、朝から沢山のお客様に来場していただき大盛況でした！

今回はネコの輪投げ・ゾウの輪挿し・ポストカードなど新作もデビューし、充実した品揃えでした。

事前に情報誌ぱどへの掲載、地域へのチラシの配布、ポスター掲示など宣伝活動に力を入れていた甲斐あり、初めてフローラへ立ち寄ってお買い物してくださった方もおりました。工房の利用者さんも毎回販売会を楽しみにしており、一生懸命作った作品が目の前で売れていく度に「月曜日からまたお仕事頑張らなくちゃね！」と、目をキラキラさせていました。

来店していただいた方に「素敵なお店ですね。」と褒めていただけるように、少しずつフローラは進化しております。

次回は11月に販売会を予定しておりますので、是非足を運んでください。

夢花工房 オリーブ 長島 恵



看板が目印です！



沢山の商品が並んでいます



色鮮やかなキーホルダー



丈夫でおしゃれなパスケース



お客様でにぎわう店内の様子



続々と新作も出ています



お子様から奥様まで人気があったアクセサリ



プレゼントや贈り物に人気の木工おもちゃがズラリ



夢花工房の農園で採れたラベンダーを丁寧に編み込みました☆



カフェ夢花を開催しました

当日は肌寒く感じる雨の中、多くの方にご来場・ご利用いただき、ありがとうございました。

おかげさまでカフェを始めて今年で5年、毎回来て下さる地域のお客様に支えられ、続けてくることができました。

今回は一時、台風を思わせる天候になりましたが、コーヒーやケーキを食べながら楽しんで過ごされる様子を見て、開催をしてよかったと実感しました。

今後の開催は未定ですが、地域の情報誌「ぱど」や、長沢商店街で賛同いただいた店舗さんに告知ポスターを掲示させていただきましますので、それまでお楽しみを温めていただければと思います。

バス通りから一つ裏通りに入った隠れ家的小店、カフェ夢花。これからも「ほっとする空間」をご用意して皆様のお越しを心よりお待ちしております。

夢花工房ぱばい 進藤 道徳



「いらっしゃいませー」



こちらも看板が目印です



心を込めてコーヒーを淹れます



一番人気☆ロールケーキ



厨房は大忙し!



にぎやかな店内の様子

研 修 報 告



TEACCHモデルに学ぶ実践研究会 自閉症カンファレンスNIPPON2016に参加して

自閉症カンファレンスNIPPONというのは、TEACCHモデルに学ぶ実践研究会で、毎年米国ノースカロライナ大学TEACCH部のディレクターを招いて、8月に行われています。今年8月20日(土)～21日(日)に早稲田キャンパスにて行われました。

自閉症(ASD)を正しく理解し、世界でもっとも優れた支援のスピリッツを共有するための「自閉症カンファレンスNIPPON」。日本全国から1,000人を超える参加者が集まる会議に夢花事業部からもアルバイトを含む十数名の職員が参加してきました。



日本全国から集まり2日間にかけて行われました。

【感想】

支援者一人ひとりが人の人生に関わるという自覚を持ち、ニーズを汲み取り一元化された支援を行うことで福祉サービス利用者が安心して生活できる環境を提供できるのではないかと考えます。

女子生活ホーム 小島 詩穂

これまでの自閉症の研究の変遷で「自閉症は母でなく脳」という正しい認識後、先生らの今までの研究の成果をお聞きすることで、私の中で「なんとなく」でとらえていた自閉症に対する意識が知識としてしっかり理解できたと感じました。

児童デイサービスドリーム スタッフ T・K

自閉症という文化⇒違ってOK。理解し(すれば)受け入れ(られ)、好きになり、敬意を持つ(ことができる)。この言葉を忘れず、今後に繋げていけるよう支援する者としての資質を磨いていきたいと強く感じた研修でした。

児童デイサービスドリーム スタッフ P・R

2016年 8月～9月の活動報告

【夢花工房 オリーブより オリーブの活動について】

夢花工房オリーブでは午前中はお仕事、午後は様々な活動を行っています。なかでもクリエイティブアドバイザーの寺内さんを中心に月2回創作活動を行っています。

皆さんの表現力に毎回感心してしまいます。絵が得意な方、粘土が好きの方、端材を使って家や動物を作っちゃう方、それぞれ得意な事を自由に取り組みしています。それらのユニークな作品はフローラでの販売会の際に展示させていただいたり、夢花工房オリジナルカレンダーで使用したり、大人気商品のメモ帳の表紙の絵になったりと様々な場所で活躍しております。

夢花工房の販売会にいらっしゃった際には、是非それらの作品もご覧になってください。きっとすぐにファンになってしまう事、間違いなしですよ！



やすりがけをしているところです



絵を描くときは真剣そのもの！

【児童デイサービス ドリームより 8月～9月活動報告】



8月といえば…プール！！毎年恒例ドリームのプールが始まりました☆★

太陽が出て暑い時には、プールに入って水遊び！この夏で、お水になれてもくれたり、泳げるようになった子がたくさんいました☆

水鉄砲を持ってお水の掛け合いもしました。もっとやって！と楽しそうな声が響きます。午後は学年が大きい子が参加して水の掛け合いも本格的！大人もびしょ濡れになりながら楽しんでます★



流しそうめんも夏の恒例行事です。みんなフォークを上手に使って流れてくるそうめんをすくっていました。

今回はそうめん以外にミカンと竹輪を流しました。コロコロ転がってくるミカンと竹輪を上手にキャッチして美味しそうに食べてました。



利用者さん 作品紹介コーナー

【作品名】

『ケルン積み木』



【作業風景】

夢花工房オリーブにて



電動のこぎりを器用に使いカットしていきます。一番難しいのは、意外にも直線なんです！

【作品介绍】

積み木は円柱、直方体、板積み木の3種がそれぞれ大小と三角が1つ。綿ロープで通してあります。工房オリジナルきんちゃく袋付。山にあるケルンのように積んだり、お話したり。

色々遊ぶ赤ちゃん用の優しい積み木。工房のみんなが楽しみながら手磨きして作りました。

夢花事業部 職員紹介



①お名前 ②特技
③一言お願いします♪

①佐藤 忍 (児童発達支援管理者)

②バク転できます！高校生の時、体操部でした。(^ v ^)

③元トラック運転手の異色の管理者です(笑)。日本全国を巡り巡った経験を元に、生み出されるたぐいまれな笑いのセンスで子どもたちを常に笑いの渦に巻き込みます！

最近は年のせいか涙もろく映画(ワンピースやクレヨンしんちゃん)で号泣してしまいます。

今後ともみなさんにご迷惑をかけないように頑張ります！

編集後記

今年の夏は熱かったですね、そう！オリンピック・パラリンピックがありましたね！一生に一度でいいからあの感動を目の前で(観客席から)味わってみたいものです。東京オリンピック・パラリンピックまであと4年。みんなで盛り上げていきましょう！

次号は11月を予定しています